

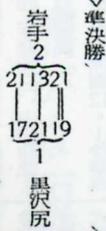
排球遂に制覇成る

大会 総合で第二位

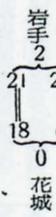
全国高校予選をかねる県高体連主催の第三回県下高校総体体育大会は県下から三千八百余名の選手が参加して一、二、三の三日間花巻総合グラウンドを中心に華々しく挙行された。本校からはバレー、バスケット、体操、ラグビー、ハンドボール、陸上競技、卓球、庭球、水泳、ボクシング、柔道の十一種目に出場、炎天にも負けず奮戦敢闘し総合得点十五点で全日制校中第一位を獲得した。

野村見事なキル

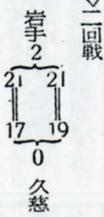
一、二、三の三日間花巻高聖 校舎でくり開けられたバレーボールは本校が先輩の指導と選手の猛練習の甲斐があつて遂に県制覇をとげた。



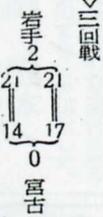
岩手2 野村尻



岩手2 花城



岩手2 久慈



岩手2 宮古

一セット本校サーブの不調から意外の苦戦となつたがF且戸張のタツチ、H野村の猛キルで

入る、二セットは戸張のサーブ倒した遠野は決勝で本校と顔を合わせた。過去の成績は、勝0敗でナインは始めから自信満々試合にのぞんだ。果して試合となるやトツプサーバー藤沢のサーブ良く決り四点を上げ有利に試合を進めた。而し遠野もさるものバツクの不調に乗じ14-14と追つたが戸張、谷藤のサーブ良く相手のアナをついてポイントとし、又上川、谷藤の好パスや美事なスライディングなどがあつて味方の危機を救い21-18で一セットを獲得した。二セットは野村一本やりの作戦が図に当たり種々とポイントを得敵にチャンスを与えず快勝した。

一高、高松と県下の強豪をなぎ倒した遠野は決勝で本校と顔を合わせた。過去の成績は、勝0敗でナインは始めから自信満々試合にのぞんだ。果して試合となるやトツプサーバー藤沢のサーブ良く決り四点を上げ有利に試合を進めた。而し遠野もさるものバツクの不調に乗じ14-14と追つたが戸張、谷藤のサーブ良く相手のアナをついてポイントとし、又上川、谷藤の好パスや美事なスライディングなどがあつて味方の危機を救い21-18で一セットを獲得した。二セットは野村一本やりの作戦が図に当たり種々とポイントを得敵にチャンスを与えず快勝した。

ラグビー意外の敗退
今春行われた市民大会で宿敵高

宿敵盛高に又も屈伏

バスケットは県下から二十六校が参加して一、二、三の三日間花巻高校第一校舎で行われた。

一回戦 不戦勝
二回戦 岩手38-14高田

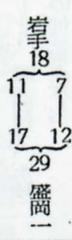
始めから乗に試合を進び、高一年の新人を多用した。

三回戦 岩手24-21花巻

本校にリアル多く苦戦したが第一クオーター七対七に持ちこた

前半场河村2、村田8、加藤2点

中三以来の戦績は五分五分で両



岩手18 盛岡1

校ナインにはこの一戦をものにしようとする気魄があふれていた。

個人順位
村上27・3 小森27・1 佐々木18・7 斎藤17・5 遠藤16・0

団体順位
岩手高(得点三二〇)

村上鉄棒で一位 体操二位を獲得

体操は一、二の両日花巻高校第一校舎で行われた。本校は小林、斎藤の名選手を送り出したにもかかわらず若冠村上、小森等が奮闘し第一位を占めた。



優勝したバレー部

(写真は村上)

五大会新記録を樹立

陸上、予想外の好成績

今大会で予想以上に好成績を収めたのは何んと云つても陸上競技部だろう。総合得意では出場

村井又も大会新

二、三の二百間花巻温泉プールで行われた水泳の成績は次の通り。なほ五十米背泳で村井良和選手は三十六秒で大会及び県高校新記録を樹立した。

- ▽四百米予選A組②阿部D組②大坪
- ▽五十米背泳予選A組①村井三十七秒八D組①遠藤四十一秒〇
- ▽五十米背泳決勝①村井三十六秒〇(大会新、県高校新)
- ▽百米平泳予選B組①石田一分三十三秒一
- ▽百米平泳決勝①石田
- ▽二百米平泳決勝①石田
- ▽八百米自由型決勝①阿部
- ▽百米背泳決勝①村井一分二一秒六(遠藤)
- ▽八百米自由型リレー①岩手
- ▽水泳総合得意点②三十三点

種目が少く三位となつたが、県高校短距離界の押しも押されぬ王者である。この大会に於ては佐藤志三が大会新を二つ、西野が一つ、岩高として一つ、大会及び西野が一つ記録している。なお東北大会に出場するため次の諸君が選抜され田口先生に引率され十五日朝の汽車で青森に向つた。

- ▽西野25・6秒準決勝①佐藤24・7秒(大会新)②西野25・2秒決勝①佐藤24・8秒(大会新)②西野25・0
- ▽四百米予選①瀬川58・2秒決勝③瀬川
- ▽百十米障子選①瀬川
- ▽八百米リレー予選(①西野、②由村、③佐藤、④瀬川)
- ①岩手高一分四秒六準決勝①岩手高一分三秒三(大会新)決勝①岩手高一分三秒七(大会新)
- ▽走巾跳決勝①西野6・04米(大会新)
- ▽砲丸投決勝①岩脇11・40米
- ▽槍投決勝①中川43・52米
- ▽総合得意点①岩手高四四点

遠藤猛烈なパンチ
ボクシングは二、三の三百間花巻町公民館で行われ、本校からは遠藤大紀雄が出場した。

▽バンナム級
一回戦遠藤(判定勝)
二回戦遠藤(判定) 菊池
準決勝遠藤(判定) 佐々木
決勝 古川(判定) 遠藤

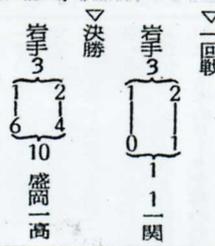
小林選手表彰さる
本校先輩小林選手は六月一日花巻駅前で行われた高校総合体育大会開会式で、千五年度優秀選手として表彰された。

業方面も素晴らしい卒業式に
は日本私立高中連合会賞などが授与された。我々の恥とすべき人物である。

備いぞ!!ハンドボール
本校十五点得意の中には新進ハ

送球、疲労で敗惜す 一関に は快勝

ハンドボールは二、三の二百間花巻高校第一校舎で県下から四校が出場して行われた。本校は一回戦一関と顔を合わせ三対一でこれを破り、決勝で盛岡一高に惜しくも二対三で敗れた。



岩手山集中登山

山岳部では七月二十八日から三日間岩手山集中登山を行うことに決定した。これによると全校から希望者を募り、滝沢口、一ター(佐藤)小岩井口、一ター(昭井) 聖敷台口、一ター(三浦) 大更(一ター)遠藤の四ヶ所から登山を開始岩朝御来光を拝み、網張りに下る予定で、全校生徒諸君の多数参加を希望している。

卓球準々決勝で敗る

卓球は湯本小学校で行われ本校からは小沢、村上、下河原、箱石が参加した。

- ▽一回戦 対千厩高
下河原2-0
小沢2-0
M小沢、村上2-0
- 4村上 5箱石
- ▽二回戦 対宮古高
下河原2-1 門屋
小沢2-0 森下
M小沢、村上2-0 藤下門屋
- ▽三回戦準々決勝 対水沢高
下河原2-2 田
小沢2-1 小笠原
M小沢、村上2-1 八巻十田
4村上 2

柔道練習不足嘆る

戦後初の出場だけに各方面から相当注目されたが、いかにせん出場一週間前からの練習を始めないので練習不足がたたり一回戦で柏に3-0で敗れた。

- ▽団体一回戦
岩手0-3 柏
- 伊藤米山組優勝
市内中学総球大会
第二回市内中学総球大会は六月二十四日岩手公園コートで行われ、本校の米山、伊藤組が優勝した。
- ▽一回戦
岩手 伊藤3-0 斎藤
米山3-0 齋藤
阿部 一宮3-0 坂水附属
竹生附属
- ▽二回戦
岩手 伊藤3-0 藤田下橋
米山3-0 田中下橋
阿部 一宮3-1 下橋
- ▽三回戦
岩手 伊藤3-0 佐藤附属
米山3-0 出口附属
岩手 一宮3-1 斎藤小路
高橋下小路
- ▽準決勝
岩手 伊藤5-2 今淵
米山5-2 小山下橋
阿部 一宮5-1 高橋下橋
箱石下橋
- ▽決勝
岩手 伊藤4-2 一宮
米山 阿部

ハンドボール部の三点がある。この部は昨年結成され、今迄いすれも苦杯をなめて来たが、今度の大会では好調のF、W、G、Kにたすけられて一回戦で花巻を3-1と一蹴、決勝では疲労とF、Bの混乱で、惜しくも盛岡一高に敗れたが、第二位で三点を得点した。体操や籠球の三点はあまりまであるが、第三位欄間が十五、五点と迫っている。ハンドボールの業績は賞賛に値する。因みに本校種目別得意点は、排球4、籠球3、体操3、ハンドボール3、水泳3、水球3、水球練習を開始

昨年広島で行われた全国大会準決勝で惜敗した水球は今年こそ、の意欲で目下猛練習中。

石 桜 新 聞

昭和26年10月21日

軟式野球盛岡地区予選

▽一回戦(高松高グラウンド)
岩手 000 002 000 0
柱 000 000 000 000 0

金子一寛原

▽準決勝(高松グラウンド)
岩手 000 000 000 000 0
三高 202 000 000 000 4

松野、菅原、金子、工藤一寛原

生内
▽準決勝
会は七日市立高で行われた。

▽一回戦 一関24:15 岩手
県民体育大会招待レース

送球、準決勝(東北大会)で敗退

県民体育大会で、位となった送球部は優勝の高松一高ととも十月六日に郡山で行われた東北選手権大会に出場準決勝で仙台一高に敗れた。
▽一回戦
岩手 2 010 0 保原高
▽準決勝

▽一回戦 不戦勝
岩手 28 22 柏
岩手 29 14 19 36 崎
岩手 29 14 19 36 崎

て弱チームとうわさされたのに、気を取り直して2と互格に試合を進めたが後半戦意を失い9-4で敗退した。
東西対抗 県東西対抗陸上競技大会は九月二十日釜石市営グラウンドで開催され本校から佐藤忠二君が出場。種目タイム次の通り。
▽百メートル 8秒
▽二百メートル 24秒1(大会新)

高、中共に優勝

佐藤、二百に県高校新

ジュニアクリエーション大会は十四日県営グラウンドで行われ、本校は高、中とも初の栄冠を獲得した。
◆高校
▽百メートル ①佐藤忠二 23秒5(大会新)
②若脇章夫 21秒9(大会新)

▽走部跳 ①中川巧哉 5分74秒
地祐治 5分46秒
▽砲丸投 ①若脇章夫 11分(大会新)
▽円盤投 ①中山巧哉 33分(大会新)
②藤村喜治雄 28分
▽八百メートル ①若高(岩脇、瀬川、及川、佐藤) 1分41秒

振りぬ排球、籠球

揺がぬ短距離

県民大会

第三回県民体育大会は団体選手選を兼ねて九月四日から三日間新築成った県営総合グラウンドを中心に市内各所で行われた。この大会で本校佐藤忠二、村上昇選手は大会に参加することに決定した。

排球

▽瀧川雅三
▽砲丸投決勝
①若脇章夫 11分61秒(大会新)
▽短投決勝
②中川巧哉 75分

この結果短距離の佐藤忠二君が団体行きて決定。
村上一位、小森三位

体操は盛岡一高に於て行われ、本校村上昇君は個人総合で一位となり晴れの団体出場権を獲得した。
▽徒手規定 村上 9.05
▽平行棒規定 村上 9.30 小8

▽男子百メートル(9歳以下)
①佐藤忠二 23秒9
②西野寿司
▽二百メートル
①佐藤忠二 23秒9
②西野寿司
▽四百メートル

▽徒手規定 村上 9.05
▽平行棒規定 村上 9.30 小8

▽規定総合 村上 44.65 小森 42.60
▽自由総合得点 村上 42.65 小森 41.61
◎規定自由総合得点
村上 87.30
小森 83.20

シユート決らず惜敗
バスケットボールは岩手大学薬学部盛岡一高に於て行われたが、本校は準決勝で尾崎高と対戦終始互格に試合を進めたが肝心のシュート決らず惜敗した。

阿部、坂下組優勝
盛岡近郊庭球大会は十月七日太田村役場裏コートで行われ本校が優勝した。

北田満塁ホームー
市内中学校技に優勝

水球、先輩(桜泳)強し
県民大会水球は九月一、二の両日花巻温泉プールに於て行われた。
▽百メートル準決勝
A組 村上良和 1分25秒6 照井哲一 26秒2
遠藤三樹夫 1分32秒
B組 石田昭 3分15秒
村上良和 1分20秒9 照井哲一 30秒1

▽二百メートル準決勝
石田昭 3分15秒3
▽水球
準決勝若高-松尾飯山
決勝若高 4-7 松尾飯山

ラグビー(医大グラウンド)
▽一回戦
岩手 53 0 一関一
▽準決勝
岩手 0 8 高松

記録
◇陸上競技盛岡高校陸上競技選手権(八月四日五日)川島金沢市
▽二百米佐藤 88秒 小森 91秒
▽四百米佐藤 1分40秒 小森 1分45秒

◇陸上競技盛岡高校陸上競技選手権(八月四日五日)川島金沢市
▽二百米佐藤 88秒 小森 91秒
▽四百米佐藤 1分40秒 小森 1分45秒

◇陸上競技盛岡高校陸上競技選手権(八月四日五日)川島金沢市
▽二百米佐藤 88秒 小森 91秒
▽四百米佐藤 1分40秒 小森 1分45秒

◇陸上競技盛岡高校陸上競技選手権(八月四日五日)川島金沢市
▽二百米佐藤 88秒 小森 91秒
▽四百米佐藤 1分40秒 小森 1分45秒

◇陸上競技盛岡高校陸上競技選手権(八月四日五日)川島金沢市
▽二百米佐藤 88秒 小森 91秒
▽四百米佐藤 1分40秒 小森 1分45秒

石 楼 新 聞

(第15号)

昭和27年2月9日

慶應高を破り三位

国体遠征ホッケー部

盛岡高を九対一と軽く破り晴れの
果選手権を獲得した本校ホッケー
部は一月二十五日から栃木県日光
町に於て行われた第七回国体スケ
ート大会に出場、一回戦ではオー
ル東京(慶応義塾)を九対五で破
ったが、回戦準決勝で苦小牧に二
十六対〇で大敗した。三位決定戦
では、対して神奈川慶応高校を破



った。
マ一回戦

岩手 9
3 3 3
1 2 2
5 東京

3 0 0 2 0 0 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 9

原藤村田松田花野野崎藤田
藤佐中北高広石淵中高石久

FW DF GK

【評】体力、技量に於て一日の長
がある本校は始めから詐合を棄に
選び、それに加え東京が混成チーム
であるためチームワークに弱点が



あり、これを巧みについで得点を
重ねた。
マ一回戦

岩手 0
0 0 0
10 9 7
26 苦小牧

【評】第一ピリオドGK石川がス
テックで叩かれ下唇に一センチの
裂傷と前歯一本を折り退場し早く
も前姿多難を思わせた。果して北
海道は本校にチャンスを与えず一
方的に試合を進め、折角のチャン

岩手高 7
3 3 4
1 1 1
6 神奈川

【評】相手のチェンジメンバーの
不足と脚力不足につけ込み後半反
撃が功を奏し一点差で破り、三位
を確保した。

宿敵一高を軽く屠る

県下スケート選手権大会兼国体選
こう会ならびに東北スケート大会
予選は一月十三日高松の沖リンク

で行われた。昨年三対一と盛岡一
高に惜敗した本校チームは『今年
こそは!!』の意気ものすこく夏か
ら『打倒苦小牧』を自指して猛練
習に励んだ甲斐があり、盛岡一高
を九対一と軽く破り、昨年の霹靂
を遂げた。

岩手高 9
5 1 1
1 0 1
1 盛岡一高

反 0 0 0 0 0 0
得 5 1 3 0 0 0
原田花藤松宗 沢橋 富田
藤北立佐高石 淵高 石久 川保

FW DF GK

第一ピリオド 本校二分北田のバ
スを藤原決める。続いて藤原また
も北田のバスを決める。10分花
中央よりドリブルで一点。
第二ピリオド 三分花のシング
ルドリブルで一点をあげた本校
は五分藤原がゴール前混戦から一
点。さらに北田のロングシュート
立花、藤原と再度バスを渡し合っ
て五分での同点大量点をあげた
一高D.P.斎藤一点をあげる。
第三ピリオド 六分高松のセンタ
ー・ソーンよりのロングシュート
がはねかえられたところを花が決

八戸に完敗

東北
選手権

第一回東北水上競技選手権大会は
岩手、宮城、青森の代表選手七十
余名が参加して一月十四日八戸市
長根リンクで行われた。本校は合
宿と、百前の試合の疲労のため闘
志振わず21対0で敗れた。

岩手高 0
0 0 0
0 0 0
21 八戸高

多彩だった予餞会

外彩を要めた予餞会が卒業式に先
立ち一月三十一日正午より本校々
堂に於いて高一即ち第四回卒業生
のために催された。今年の予餞会
は過去の形式的な会から脱皮して
真に卒業生と一語に最後の笑しむ
会を持つとして計画したたけあ
って各クラブ対抗と云う総務委員
会の作戦が功を奏し近年まれにみ
る盛況となった。
送別の辞、総務委員田村君、体
育委員上原、文化委員崎崎通郎君、
謝辞八重樫昌宏君、学校長挨拶に
続いて余興に入ったが後から後か
ら登場する演奏に一場は爆笑の連
続だった。演劇部の笑劇『次郎家
山子』A.Bの『ラジオ空席』映画
部の舞踏、I.Oの『青空列車』等
が好評で最後に楽団ストロン・チ
ェーラー大諸君のバンド演奏に和し
て生徒徒の合唱に盛り上った『
螢の光』校歌斉唱により予餞
会の幕を閉じた。

冬の東北水上大会

第二期東北水上競技大会はオ
リンピック候補をまじえた水の
精鋭百二十五選手が参加して一
月十三日の両日高松平温泉プール
で挙行された。

- 予選：○
- ▽百尺自由型 B組②釜福一分14秒6 D組④川辺E組④小野寺④細屋
- ▽五十尺背泳 B組②村井36秒6 C組④村井健
- ▽四百尺自由型 B組②吉田五分51秒8
- ▽百尺平泳 B組④磯崎O組④長谷川D組⑤吉田
- ▽二百尺自由型 D組②小野寺
- ▽男子百尺背泳 A組④村井B組②村井一分20秒0 (天倉新) C組④照井
- 決 勝：○
- ▽五十尺背泳⑥村井36秒2

縣高校總合体育大会

三種目に優勝す

水泳十年振りの榮冠

第四回早稲田縣高等学校總合体育大会は五月三十一日、六月一日の二日間縣郡市町の總合グラウンドを中心として市内各地競技場で五千八百名以上の選手が参加して、けんけんとして躍動する肉體の祭典絵巻くりひろげられた。これに先立ち三十一日に大会開式が縣營グラウンドで開かれるはずであったが雨が降つたため一高講堂で各校代表によつて式が開かれ、各校長の開会宣言及び挨拶があり同十時卅分開式を終えた。なお本校出場選手は百余名であったが總合第三位の榮冠を勝ち、岩高黄金時代の感を一層深めた。

見事な村上のフォーム

跳躍 一位村上、九〇・二
位佐々木八、一〇・四

位置 位佐々木八、一〇・四

△本校の村上はすばぬびいて他校とは全然くらべものにはななかつた。

バレエ惜敗
五月三十一日、六月一日の二日間
仁三小学校で高体連排の部が開かれた。戦績次の通り。

- 一位 村上 三七、一
- 二位 佐々木 三一、七〇
- 三位 小林 三一、七〇
- 四位 齊藤 二九、六五
- 五位 三浦 二八、六〇
- 六位 高橋 二七、七五

種目別成績
徒手 一位村上、三五・二
位佐々木九、一〇・三
位小森八、五五・六

遠投
一位村上、九、二五
二位小林七、九五
五位高橋

鉄棒 一位村上、五〇・三
位佐々木七、五〇・六
位小森

△縣下のキルの名手野村をもつ本校は優勝候補であったが、準決勝で敵高に延長の2対0で惜しくも敗れた。

ラグビー
夫々五百三十口隊がランド



☆榮冠ある優勝をなした。試合では佐々木、小曾根、角掛が續は次の通り。

一回戦
本校不戦勝岩高高校

二回戦
本校24 15-0 盛岡一高

決勝
本校21 6-0 3和賀高校

岩手0 03 00 21点
T G P G 計
墨10 0 0 0 3点

【評】傳統ある本校は決勝で強敵岩高と対戦の日、本校は出たしはおされていたがすぐ盛り返してT B小曾根が最初の得点をした。その後得点かさねて盛々の優勝をした。この試

中川槍投に一位
春季總合体育大会、陸上競技は五月三十一日、六月一日の二日間縣郡市町の總合グラウンドで開かれた。本校の成績次の通りなお本校は五位であった。

一〇〇米決勝◎佐藤忠三、二秒五
四秒五◎瀨川雅三、二秒四
〇〇米決勝◎瀨川雅三、五秒七
八〇〇米陸走決勝
◎岩崎、南黒沢、瀨川、佐藤
走巾跳決勝◎中川功哉、五米七・八
砲丸投、◎岩崎章夫、十二米〇・九
円盤投、◎中川功哉、三五米

六〇
槍投、◎中川功哉四・一米
◎岩崎章夫三・九米

一高に惜敗
春季總合体育大会ハンドボールは六月一日、三日の両日一高グラウンドで開かれ決勝で強敵一高に惜敗した。戦績次の通り。

決勝
本校2 2-0 一高
1-0 0-1 一高

本校2 1-3 8盛岡一高
1-5 8盛岡一高

【評】決勝で強敵一高と対戦したが、新陣容の本校は取もむなく8対2で敗れた。

三百米混泳一位

水泳は六月二、二の両日花巻温泉プールに於て行われ、本校は十年振りで優勝旗を手にした。

△三百米メドレーリレー予選
①(A組) 岩手高校チーム
▽同決勝

②岩手チーム3分51秒(村井 兄、石田、吉田)
▽同決勝

③八百米自由型予選
①(C組) 吉田③(同) 大塚
▽同決勝

④吉田11分50秒2
▽同決勝

⑤百米平泳予選
①(B組) 長谷川②(E組) 石田
▽同決勝

②石田1分25秒
▽同決勝

③百米背泳予選
①(A組) 村井兄①(B組) 照井
▽同決勝

④村井1分22秒4 ④照井
▽二百米自由型予選
②(C組) 遠藤
▽四百米自由型予選
①(A組) 吉田④(E組) 大

坪
▽同決勝
②吉田5分36秒8
▽二百米平泳予選
①(A組) 石田②(D組) 長谷川
▽同決勝
②石田3分03秒4 ⑥長谷川
▽百米自由型予選
③(C組) 遠藤
▽同決勝
⑥遠藤1分15秒
△五十米背泳予選
①(C組) 村井兄①(B組) 照井
▽同決勝
①村井37秒②照井38秒0
▽八百米リレー予選
①(A組) 岩手高
▽同決勝
③岩手高11分25秒0 (村井 元、遠藤、村井弟、吉田)
▽総合得点①岩手高五十五点

ラグビー久々の制覇

盛岡市民体育祭

盛岡市民体育祭は去る五月三日二回戦 本校2-0 杜陵高校より三日間市内各場で約十種目決勝 本校1-2 高松高校の優勝が行れた。本校成績次の通り

▽ラグビー(於医大グラウンド)
一回戦 本校14-3 高松 団体総合⑧本校(森、川村、小 決勝 本校17-6 盛岡農 林、高橋、旭) 九五・三五
個人総合⑧小林二五・一〇④森 二四・九〇⑥川村四・六五
種目別成績▽マツト①小林⑧川 村⑥森▽鉄棒②森▽跳躍③小林 ⑤森
総合得点⑤五一・七〇
▽バドミントンクラブ初出場
一回戦 本校2-0 盛岡農 坂下 浦田0-4 盛岡一高
三回戦 一宮 坂本4-10 盛岡農 伊藤 秋兵3-4 盛岡一高 準決勝 一宮 坂本0-4 盛岡一高
▽排球 (仁王小学校)
一回戦 本校2-0 橋高校
▽復一回戦 関、小山2-0 (盛岡)
▽準々決勝 小山 0-2 北村 二高
▽水泳(高松の池)
▽中学百五十米①小野寺2分8 秒
▽高校四百米①吉田6分15秒② 村井③照井
▽バスケット(二高)
▽準決勝 岩手20-8 高松
▽決勝岩手22-28 盛岡一高
▽軟式野球

意外の二連敗

盛岡市内高校野球は五月二十四五日の両日盛岡市営球場に於て行われた。

盛岡 0000002103
岩手 0000001001
(岩) 北田弟一佐藤(盛) 藤沢 一白井
岩手 0000000000
盛岡 10010021A5
(岩) 遠藤、小武方一佐藤(盛) 千葉一松岡

貧打に敗る

春季県下高校総合体育大会軟式野球の部は市営球場において行われた。

一回戦 岩手 2005512
前沢 0000000
二回戦 釜石 00020050310
岩手 00000100011

善戦むなし庭球

庭球は五月三十一、六月一、二の三日間岩手公園コートに於て

一回戦 不戦勝
二回戦 本校3-0 山田高
三回戦 本校3-0 宮古高
四回戦 本校2-3 宮古水産

盛鉄に二連勝

六月十一日、盛鉄球場において ノンプロ 球団盛鉄と練習試合 △準々決勝 岩手31-19 盛鉄尻 △準決勝 岩手32-44 一関一

△本塁打、有坂
一関一に敗る
バスケットは一高、学芸、工學部コートに於て行われた
△準々決勝 岩手31-19 盛鉄尻
△準決勝 岩手32-44 一関一

を行ない六対四のスコアで軽く破り二連勝

岩手 2102010006
盛鉄 0200100104
(岩手) 堀切一岩崎(盛鉄)

石桜新聞

発行所 田岡市仁王田岡
 盛岡市仁王田岡
 岩手高等学校
 岩手中学
 出版委員会新聞部
 藤村圭秀
 印刷所 岩手日報社

学校行事予定
 前期末試験 九月十七日より
 運動会 十月四日
 文化祭 十一月上旬
 後期中間試験 十一月下旬
 模擬試験 十二月上旬

躍動する五千の若人

第四回県民体育大会

四種目に優勝

第四回県民体育大会は去る八月の二十一日上田県営グラウンドを中心として市内十四の会場において華々しく開催された。この日五千の若人が日頃の技によりをかけ細べきの秋空のもとに熱をこめて潮を競うさまは真に独立の秋を飾るにふさわしいスポーツ祭典であった。この大会における各校出場各選手活躍は自覚ましくラケット、籠球、水泳の団体四種目に優勝すると同時に個人競技においても体操の部に村上昇選手が全種目一位をとる等の素晴らしい働きぶりを見せた。

三A田村君学力

コンクールに二位



岩手日報主催の夏季特別学力コンクールは、去る八月十八日(朝八時半開始)盛岡、釜石、宮古、一関、大船渡の五都市の外県外八戸を含む上、高校を会場として一せに行われたが、本校の三年田村君はよく頑張る受験者約千名の中の第二位という輝く成績を収めた。

以下本校からの受験者の主な成績
 3A 田村君 二位
 国語八八点、社会九六点、数学七四点、理科百点、英語八〇点五、計四三八点五
 3A 福田正明 三十三位
 国語七七点、社会六七点、数学六三點、理科七四点五、英語六五點、計四一六点五
 2C 松野淳一 五十七位
 計三二八点五、3A田村君、六十三位、計三二七点、3A木下茂一六六位、計一九九点五、2C齋藤裕一五八位、計一八七点。
 なお松野淳一は、一般社会で八〇

模擬試験行わる

・五点、升田忠樹(外四六名)は世界史で百点、田村君が生物で百点と各々一位をとっている。

高校模擬試験は去る七月、日より全科目受験者五十三名を集めて合同教室で行われた。総合賞、科目賞、平均点表は次の通り。

総合賞
 一位 3A 田村君 平均九一点
 二位 2C 松野淳一 平均七九点
 三位 3A 福田正明 平均七五、八
 四位 2C 齋藤裕 平均七〇、二

科目賞
 国語 3A 田村君九一点、3A 福田正明八三點、3A 村上昇七九点、1C 小林隆七九点
 社会 (一般社会) 3A 田村君百

点、2C 齋藤裕九八點、2C 松野淳一九四點、3B 菊地正弘八七點、1C 黒川元八六點(日本史) 酒井正雄九六點(世界史) 2C 菅原雄吉八八點、2C 小森順吉八五點(時事問題) 3B 小田島康男八〇点、村上昇八〇点
 数学(解析) 3A 田村君八〇点
 幾何、解析は受賞者なし。(一般) 数学) 小田島康男七五点
 理科(化学) 2C 菅原雄吉九四點、3A 福田正明七八點(生物) 3A 田村君八九點、2C 小森順吉八八點、2C 齋藤裕八一点(物理) 受賞

石桜会運営 継承

毎年後期に入ると、実際上石桜会運営の実質的活動が、高等三年生より高等二年生に移されているが、これは本年も事実上、高二生からのバトンが高二生に渡される秋となった。これははっきりと明文化されたことでもなく、また学校当局としても希望は特になく、問題だが、実際には高二生も上級学校進学のため、極度に忙しくなる事情からのしきたりの如きものである。

者なし。
 英語 3A 田村君九五点 3A 福田正明八三點、2C 松野淳一七九點、2C 齋藤裕七九點

平均	英語	英語	国語	数学	理科	社会	受験者数
57.0	60.8	62.2	62.2	38.4	55.2	68.4	17
48.6	38.1	50.8	33.5	60.8	59.8	18	18
37.3	27.7	42.9	11.6	36.3	68.0	18	18
46.3	41.8	51.8	21.6	50.7	65.4	53(計)	53

▽高校模擬試験成績表
 学年別 高三 高二 高一 平均

第四回県民体育大会

十四会場に熱戦展開

四種目に優勝す

第四回県民体育大会は八月二十一日、二十三日、二十四日の三日間、盛岡市の総合グラウンドを中心に市内各地競技場で行われた。五千の健児がそのけんろんと躍動する肉体を紺碧の秋空に勇躍させて覇を競う様は独立の秋を飾るにふさわしいものであった。本校ではラグビー、籠球、庭球、水泳に優勝するなど目覚ましい活躍を見せ、勝に岩高黄金時代の感があった。



写真説明

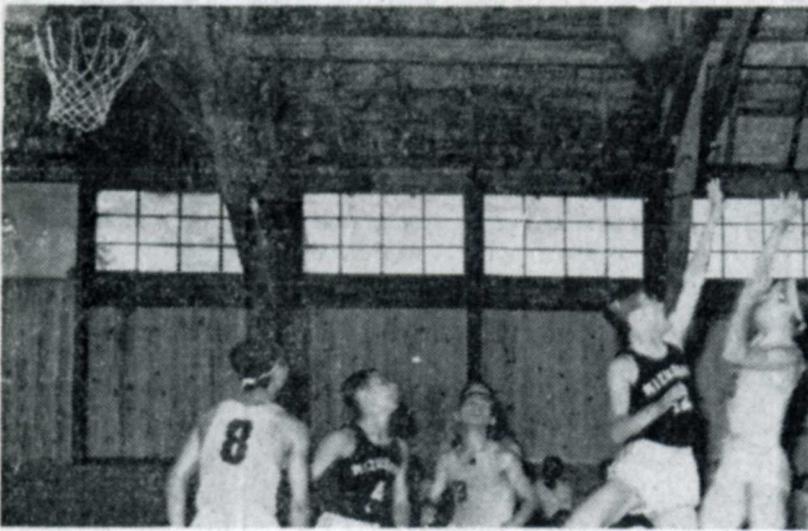
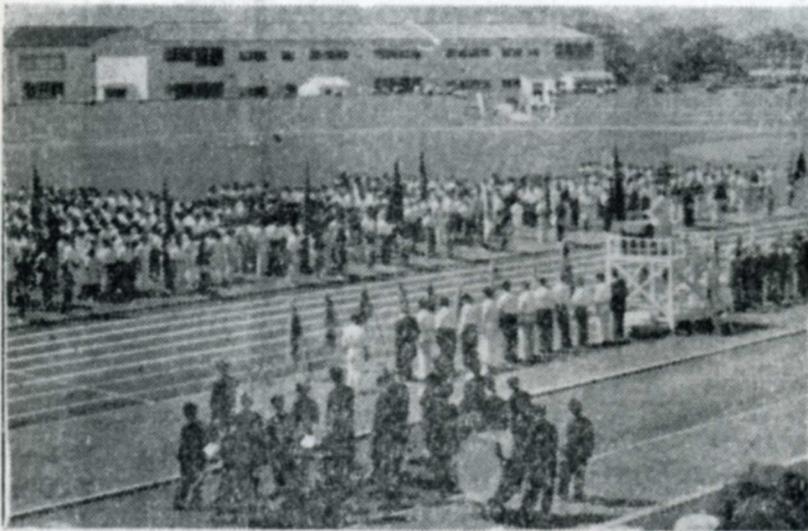
①砲丸投優勝の岩脇

②背泳百米に県高校新樹立の村井

③体操競技全種目一位の榮譽に輝く村上

④県民体育大会開会式

⑤籠球に初優勝した本校チームの熱戦



ラグビー

去る八月二十一日、二十三日、二十四日の三日間にわたり、医大グラウンドによりラグビーの部が開かれた。本校は一回戦に水沢を一回戦に高松を、二回戦には強敵盛岡を8対3で打破り、栄えある優勝をなした。

一回戦

本校53-0水沢高校

二回戦

本校0-0高松高校

決勝

本校5-0盛岡

決勝は盛岡との間に三行われ、しかも泥濘戦だったが本校の選手一

同元氣一杯に戦い8対3でこれを

下し、栄ある優勝をなした。な

おこれにより東北大会出場権を得

た。

バレー惜敗

二十二、二十三日の二日間、仁王小学校で排球部の試合が行われた。戦績次の通り。

一回戦 本校2-0高田高校

準決勝 本校2-0花巻高校

決勝 本校0-2高松高校

△本校は随一の優勝候補であった

が決勝で惜くも高松高校に2対0

で破れた。

(三) 昭和27年9月1日

右

村上全種目に一位

県民体育大会体操競技の部は、一、二、三、四の三日間に渡り盛岡第一高等学校体育館にて行われた。なほ村上は個人種目全部に一位を得るという活躍を見せ個人総合で文句なく第一位を得た戦績の通り。

個人総合(百点満点)

- 一位 村上 八八・九〇
 - 二位 佐々木 七九・八五
 - 五位 小林 七三・九五
 - 七位 高橋 七三・三五
 - 十一位 三浦 六四・五〇
- ▽種目別成績(〇〇点満点)
- 徒手 一位村上 一七・二〇
 - 二位佐々木 一六・六〇
 - 三位小林
 - 五位高橋

平行棒一位村上

- 一位村上 一七・九五
 - 二位佐々木 一五・七〇
 - 三位小林
 - 五位高橋
- 鉄棒 一位村上 一七・八五

- 四位小林
- 六位高橋
- 吊環 一位村上 一七・七五
- 二位佐々木 一四・一五
- 跳馬 一位村上 一七・七〇
- 四位佐々木 一六・六五
- 五位高橋

以上の結果により村上、佐々木が国民体育大会若手県代表に選ばれ又東北大会には村上、佐々木、小林が推薦された。尚一般子一人では石坂子一人が優勝した。

籠球初優勝なる

籠球部の試合は盛岡一高コートで開かれたが、本校籠球部選手は良く頑張る決勝で盛岡一高を破り栄ある初優勝をなした。

一回戦

本校 1224 233 一関 高

準決勝

本校 418 1310 水沢 高

本校 2415 1517 一関 高

卓球

卓球の部は二十四日に市立女子高校で行われた。

(岩高) 泉沢 2-0 日竹

(岩高) 泉沢 2-1 菊地 (盛岡一)

準々決勝 (岩高) 泉沢 0-2 佐原 (水沢高)

水泳部輝く優勝

三百米混泳泳に県新記録

第四回県民体育大会の最後を飾る水泳競技(兼団体予選)は二百年前午時から花巻温泉プールで二百三十名の水の精鋭が参加し二日間わたる水の祭典を開いた。本校水泳部はこれにより高、中とも本年度県内の大会部に優勝するという輝かしい偉業を成し上げた。

決勝記録

▽三百米混泳泳

▽二百米平泳

▽長谷川久

▽吉田重治

▽五十米背泳

▽村井良和

▽百米背泳

▽村井良和 一分一七秒八 県高

▽村井健祐

優勝点 優勝岩高58点、二位盛岡

高39点、三位久慈高37点

なおこの結果村井兄弟、遠藤、吉田の四名が二十日から宇都宮で行われる国民体育大会(県代表として)選抜された。

浦田坂下組優勝

縣民の部は若手大学農学部コートで行われた戦績の通り。

(岩高) 坂本 1-4 (千鹿) 二回戦

(岩高) 浦田 4-2 (葛野)

この結果準決勝に進んだ四チームによりリーグ戦が行われた。

▽決勝リーグ

葛野 (千鹿) 4-0 小山 (盛一)

小山 (盛一) 4-3 千葉 (水沢)

千葉 (水沢) 4-3 浦田 (岩手)

浦田 (岩手) 4-2 葛野 (千鹿)

葛野 (千鹿) 4-3 坂下 (岩手)

坂下 (岩手) 4-3 小山 (盛一)

小山 (盛一) 4-3 浦田 (岩手)

浦田 (岩手) 4-3 千葉 (盛一)

千葉 (盛一) 4-3 浦田 (岩手)

浦田 (岩手) 4-3 小山 (盛一)

小山 (盛一) 4-3 浦田 (岩手)

浦田 (岩手) 4-3 千葉 (盛一)

千葉 (盛一) 4-3 浦田 (岩手)

1952

昭和27年卒業



昭和27年卒業の部員

阿部 重雄
小笠原 昭三
清見 全弘

公式戦の記録

【夏・県大会】

二回戦 9—4 日 詰
三回戦 1—0 関一
準々決勝 1—0 高 松
準決勝 1—0 遠 野
決 勝 1—2 盛岡一

【秋・県大会】

一回戦 9—0 釜 石
準決勝 13—2 花 巻
決 勝 2—0 高 松

【秋・東北大会】

一回戦 1—0 安 積
準決勝 5—3 東 北
決 勝 0—4 秋田南

「私の野球経歴」



清見 全弘

野球について一言思い出を書くことに当り私の経歴を申し上げます。

小学校は城南で5年生の時戦争が終りましたが食べる事が必要で生きる為に食料の買出し畑を耕して食べられる物はなんでも作りジャガイモ、カボチャが主食にした時もあった。薪割り土を耕し良く歩いたもので力仕事で自然と足腰が鍛えられたのです。小学校卒業して旧制岩手中学校に入学した。その年に学制が変って中学校3年高校3年となった。

中学校1年生は水泳部に入りその

時はプールがなくて高松の池、城南小学校のプールで練習したものです。中学校3年生の時バスケットボール部に変りあちこちのコートに行つて練習した。

高校1年生の時に野球部に入り野球のかかわりの初めでした。同期生は小笠原捕手阿部外野手と私の3人だけでした。レギュラーとして出場したのは2年生の秋の大会で市営球場で盛岡一高と対戦し投手として出て前半は互格でしたが何せ練習の差が出て負けました。

高校3年生になって肩を壊しファーストになりました。1年下にかの有名な小武方投手が出て来てドロップで三振の山で勝ちまくりました。その年に岩手代表として盛岡一高2チーム青森県代表2チームで甲子園代表を目指して対戦した。小武方投手は連戦に肩を壊し変りに1年下で釜石製鉄に行った遠藤投手が先発として投げましたが上がっていたのでしようデットボールフォアボールの連続

で残念ですが取けてしまいました。でも高校の野球生活が自分にとって良い経験をしました。今でも野球に対する熱意は若い時より衰えずアメリカのメジャーの野球をテレビを観るのが一番の楽しみになってしまいました。

私なりに野球に対する教訓として申し上げるとすれば1.体力をつけること1.良く試合を観て野球観を付けること1.投げるにも打つにも腰を使って打つこと1.練習に励んで負けずぎらいになること。

最後に亡くなられた諸先輩に哀悼を表します。

昭和8年生まれ 昭和27年卒業生

1953 -①

昭和28年卒業 輝かしい成績／昭和26年秋、昭和27年春連続優勝！



昭和28年卒業の部員

- 石川 富喜蔵治
- 川村 識夫
- 小武方 信一
- 柴田 端夫
- 中川 章
- 宮手 孝勉
- 吉田 勉

左から 中川章(マネージャー) 後列/石川富喜蔵治(左翼)・柴田端夫(一塁)・小武方信一(投手)
前列/吉田 勉(三塁)・戸嶋正夫先生(部長)・川村識夫(右翼)

「無名校からダークホース、そして優勝候補筆頭へ」



吉田勉 (S.28年卒)

私どもの年代は、岩手中学3年、岩手高校3年、計6年間の一貫教育が原則で、岩手中学の軟式野球から岩手高校の硬式野球へ進むのが既定路線であった。他校のように、高校にあがっても新入生が入って来ることはなかった。従って一学年2クラス100人に満たない少人数であったが、学業は勿論、体育部門に於ても各部とも少数精鋭ぞろいで県下にその名を残したことを誇りに思っている。自分としては、学業では山中先生、体育では戸嶋先生の薫陶を受

け、有意義な中学・高校生活を送ることが出来たこと、そして野球部の厳しい練習を通して得た、規律、礼儀、協調、忍耐、頑張り等のスポーツマンシップが社会人になってからの人生のいろいろな場面で大いに役立ってきたと深く感謝しております。

さて、当時の野球部は歴史も浅く、OB組織、後援会もまだ確立しておらず、毎年監督が替わり、臨時の監督や監督のいない練習期間もあった。こんな状況で、長期的展望にたった一貫した指導方針はもとより、練習の年間スケジュールや練習マニュアルがなく、前年の踏襲でスパルタ式にただ厳しく、練習時間もボールが見えなくなる迄長時間練習に耐えていた。今振り返ってみて、科学的な冬場の筋力トレーニング、精神面の鍛錬、理論的な技術指導があったならと悔やまれてならない。又練習の一番の悩みは自前の練習グラウンドが無いことだった。今日はこっち、明日はあっちと毎日市内数カ所のグラウンド

をさがし、さまよい続けた。今振り返ってみて、中川マネージャーのグラウンドさがしのご苦労に頭が下がります。こういう状況では満足な練習が出来ないということで、遠かったが玉山村好摩にグラウンドをみつけ、丸太を縄で縛って組立てた掘立小屋に合宿、ドラム缶のドロ風呂で練習の汗を流し、学校へは汽車通学したことが懐しくよみがえってきます。

野球の実戦での成績は、タイトルにあるように1年生の年次(昭和25年)は無名校からの立ち上がりの時代。2年生の年次(昭和26年)は無名校からダークホースへと急成長、夏の甲子園大会岩手県予選で準優勝、そして遂に、秋の県下新人野球大会で野球部創立以来の宿願であった優勝を果たした。また、この直後開催された東北六県大会に出場し、初戦福島県代表の安積高校、準決勝宮城県代表の東北高校を連破したが、決勝で秋田南校に破れ東北の頂点に立つことは出来なかった。ちな

石桜新聞

所 田村君
行 王田村君
務 市仁王田村君
盛岡市高等学
岩手手会
出版者 藤村
責任者 藤村
印刷 日
岩手日報社

学校行事予定
高三卒業式 三月一日
後期々末考査 三月十日より
中三卒業式 三月二十日
春期休業 三月十五日より
新学期開始 四月八日

田村君またも上位入賞

日報学カコンクール

第七回

岩手日報社主催の冬期学力コンクールは去る二月十日(朝九時開始)盛岡、釜石、宮古、一関、大船渡の五都市の外、近郊外を含む十三高校を会場として一せいに行なわれた。受験者総数は千七百九名でその中本校からの受験者は百六名で前試験二位をこつた二年田村君は今試験では四位にとどまった。尚、識して良いのは、一年齋藤裕七十八位への躍進である。



本校受験者の主な成績
3A 田村君 四位
国語一四〇点、社会一七二点、数学一四〇点、理科二二九点、英語一七六点、計七六八点
2〇 齋藤裕 七十八位
国語一三九点、社会一五四点、数学六七点、理科一五・五五五点、英語二四二点、計五九九・五五五点
3A 升田忠樹 二二七位
国語一四〇点、社会一五二点、数学一〇〇点、理科八一・五五五点、英語一〇〇点、計五九二・五五五点

六點。
2〇 松野淳一 一五〇位
国語一三〇点、社会一三二点、数学四四点、理科一〇四・五五五点、英語一四八点、計五五〇・五五五点
3A 秋浜哲史 五二〇・五五五点
3B 小泉明英 五〇五五点
3A 福田正明 四九六五点
2〇 柿木 茂 四八九・五五五点
3B 藤村 一 四六六五点
2〇 東海林進夫 四四九五点

秩父宮殿下台臨当日の回顧

佐々木 哲郎

裡に盛岡駅御着、その後は南都郎に御仮泊遊ばされた。

いよいよお待ち待たれたる七日が来た。此日朝来快晴、理事長、学

つろがせられつゝ親しく本校の事情について御下問あせられ、誠に御感激の至りであった。

やがて一時一分、自動車に召乗せられ、御着手の手を賜いつゝ、最敬礼に御着手の手を賜いつゝ、一路盛岡駅に向わせ給うた、かくして無事、奉送了ったのである。

一般社会 三A田村君、二〇蒲沢忠仁、三A秋浜哲史、日本史、三B藤村欣治、三A福田正明、世界史、三A田村君、二〇菅原雄吉、二〇丹内御海、時事、人又藤村君なし

解析1、三A田村君、二〇松野淳一、三A福田正明、解析2、三A田村君、三A福田正明、幾何 一般数学担当者なし、理科 三A福田正明、物理、三A田村君、二〇蒲沢忠

進学、就職状況

進学適性検査も終り、高校三年生は卒業を目前に控えて、大企業のため、各科目の総仕上げに忙

酒井 黒川 両君に努力賞

模擬試験は十一月十一日より二十三日までの中、五日間行なわれたが、その結果、総合第一位は前模

二〇 松野 淳一 一七八四点
二〇 齋藤 裕 七二七点
努力賞
一〇 酒井 正雄 四七三二点
一〇 黒川 元 四三三二点
科目賞
国語、三A田村君、二〇齋藤裕、社会

卒業式第一号

きのう 岩手高



村上真、吉田勉、秋浜哲史。(写真左は岩手高校卒業式)

岩手日報(昭和28年3月2日付)

寄稿

独立最初の新春を迎えたる一月四日に、秩父宮殿下が薨去遊

その年十月一日に、ある方面から秘報展で、十一月上旬に本校に

御視察御実地御計画に基いて進行

して無事、奉送了ったのである。

一関、大船渡の五都市の外、近郊外を含む十三高校を会場として一せいに行なわれた。

受験者総数は千七百九名でその中本校からの受験者は百六名で前試験二位をこつた二年田村君は今試験では四位にとどまった。

尚、識して良いのは、一年齋藤裕七十八位への躍進である。